

曾和尚靖(能囃子 幸流小鼓)自主企画《囃す》シリーズ vol.1

ボヴェ 太郎 舞踊公演

静寂の焰 能《葵上》

しじま

ほむら

曾和博朗(人間国宝)独調《野宮》

2011年9月9日(金)10日(土)19:00
京都／大江能楽堂

ボヴェ太郎舞踊公演

静寂の焰

しじま

ほむら

能《葵上》

曾和博朗(人間国宝) 独調《野宮》



Illustrated by GAKU NAKAGAWA



©清水俊洋、大江能楽堂

曾和尚靖(能囃子 幸流小鼓) 自主企画《囃す》シリーズ vol.1

能囃子幸流小鼓方 曾和尚靖が、様々な場所や人、ものを《囃す》 自主企画シリーズ。

能囃子を入口として、一人でも多くの方が《能》にふれられることを願っております。

第一弾となる今回は、昨年より「杜若」「井筒」と協同作業を続けてきたコンテンポラリーダンスのボヴェ太郎氏を迎え、今では全国で唯一となった、明治創建(1908年)の木造、棧敷席の《大江能楽堂》を囃します。

「見えているのに見えてない、聞こえているのに聞こえない」—そんな囃子空間でのひとときを共にお過ごし下さい。

————— 曾和尚靖

2011年9月9日(金)10日(土)午後7時開演 (6時30分開場)

構成 = ボヴェ太郎、曾和尚靖

舞踊・振付 = ボヴェ太郎 地謡 = 吉浪壽晃、浦田保親、田茂井廣道、深野貴彦 後見 = 大江信行

笛 = 杉信太朗 小鼓 = 曾和尚靖 大鼓 = 谷口正壽 太鼓 = 前川光範

照明 = 岩村原太 制作 = 志賀玲子 会場協力 = 七世大江又三郎(大江能楽堂当主)

企画製作・主催 = 曾和尚靖

●料金 = 一般 4000 円 / 学生 & 25 才以下 2000 円 (学生証などを受付でご提示下さい)

●定員 = 各回 150 名 (全自由席)

*場内は棧敷席です。座りやすい服装でご来場下さい。お体の都合で椅子の必要な方は受付でお申し出下さい。*未就学児童の入場はご遠慮下さい。

●前売取扱 = 京都観世会館

●Web 予約 = プチ鼓堂 <http://www.p-kodou.com/live/> JCDN ダンスリザーブ <http://dance.jcdn.org/>

●電話予約・問合せ = シューツ&ルーツ tel 075-581-6236

ボヴェ太郎 / Taro Bove

舞踊家・振付家。1981年生まれ。「空間の〈ゆらぎ〉」を知覚し、変容してゆく「聴く」身体をコンセプトに創作を行なう。主な作品に『不在の痕跡』、『implication』、『余白の辺縁』、『Texture Regained - 記憶の肌理-』等。劇場作品の他、『in statu nascendi』(世田谷美術館)、『カンディンスキー展』(京都国立近代美術館)における公演、『陰翳』(旧岡田家住宅・国指定重要文化財)、西ジャワの古典歌曲トゥンパン・スنداとの共演(愛知芸術文化センター)等。能楽との共演作品に『消息の風景-能《杜若》-』、『Lingering Imagery of Reflection - 能《井筒》-』がある。 <http://tarobove.com>

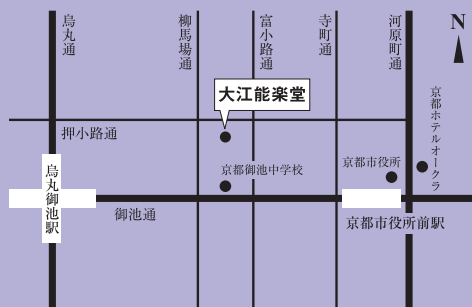
曾和尚靖 / Naoyasu Sowa

能囃子幸流小鼓方。1973年生まれ。6歳より祖父 博朗(人間国宝)、父 正博に師事。平成21年度京都市芸術新人賞受賞。能楽堂での活動以外に、小鼓や能囃子を現代に生きる音楽として、その魅力を身近に楽しんでもらえるよう、町家やカフェでのレクチャー&ワークショップ企画<プチ・鼓堂>、「わかりやすくおもしろい」をモットーとする<心味の会>の活動(1994~2010)、コンサートホールで能囃子を音楽として聴く<囃子堂>(2003~2010)などを企画。今夏にはギャラリーで展示イベント<以不打小鼓、囃也>(於あいすくりんちべた)を開催。 <http://www.p-kodou.com>

会場：大江能楽堂

<http://www.asahi-net.or.jp/~tn4m-ooe/>

〒604-0944 京都市中京区押小路通り柳馬場東入ル tel 075-231-7625



- 地下鉄東西線/市役所前駅下車、西へ徒歩 4 分
- 地下鉄烏丸線/烏丸御池駅下車、東へ徒歩 5 分
- 京阪電車/三条駅下車、徒歩 15 分